

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	45	回数を増やせない代替として、入浴のない日は足浴を提供したり、「温泉の日(入浴剤)」とか時節風呂の日もあると良いかと思います。	皮膚疾患がでないよう、入浴や清拭時に全身の確認を行い、足部の血流や皮膚疾患がある方には、足浴などを提供する。	・足部の皮膚疾患のある方に対しては、清拭時に足浴を行う。 ・汗をかきやすい方に対しては、衣類の交換や身体の清拭も行う。	1ヶ月
2	35	夜間想定で訓練したときは、利用者にはベット上で寝てもらい、職員4名で対応したとのことです。実際は1ユニット1名ですので、どのように対応するのが有効か、机上訓練で協議することを期待します	夜間帯など、人が少ない時間帯でも、優先順位を付けて、スムーズに避難をすることができる。	・年2回の災害BCP研修時に、夜間想定の場合、入居者の避難の方法や優先順位など考え、机上訓練を行う。	6ヶ月
3	2	足腰の強い人や土いじりが好きな人がいることから、芋ほりや梨狩りなど利用者の参加できることで情報を得られれば参加していきたいと思うとのことです。是非、実現を期待します	地域での活動に参加し、施設入所後も社会性のある生活が継続できるよう支援する。	・藤枝市の広報などのイベント情報を見て、もし認知症の方でも参加ができそうな活動があれば、積極的に参加していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。